

大原中学校だより 令和5年5月16日 第21号 校長 柴田美由紀

【大原中学校の教育目標】
「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく未来を拓く生徒の育成」

交通安全教室 ～ルール・マナーを守って自他の命を大切に！～



4月26日に小郡自動車学校をお借りして、1年生を対象にした交通安全教室を開催しました。2時間の交通安全教室では、講話と実技の内容でした。講話では、小郡警察署の方が来られて、日常に潜む交通事故の危険性や自転車事故の事例についてスライドを通して学習しました。また、飲酒運転撲滅に向けた啓発活動も行われました。次に、一本橋走行やスラローム、左右確認、道路や踏切横断の仕方などの実技講習を行いました。改めて、交通ルールやマナーを守らなければならないということが再確認できた講習会となりました。

自転車は、軽車両とみなされます。被害に遭うだけではなく加害者となる場合もあることを忘れてはなりません。自転車保険への加入も令和2年10月1日から義務づけられています。高額賠償の例では、小5の少年が乗った自転車と歩行者との衝突事故をめぐる損害賠償訴訟で、神戸地裁が少年の保護者に約9500万円という賠償を命じるというケースもありました。**ルールを守らないと事故につながる危険性が増し、被害者になるだけでなく、このように加害者にもなります。**また、令和5年4月1日から、ヘルメットの着用も努力義務化されています。自転車の事故も含め、接触事故があった場合は、程度が軽い場合であっても、警察への通報が必要となります。

まずは、自分の命は自分で守るよう心がけたいものです。今後もマナーアップに向けて継続的に指導をしてまいります。どうか御家庭でも、お子様の**かたがえのない命を守るため**ですから、今一度自転車の乗り方についてきつく御指導をお願いいたします。

薬物乱用防止教室、暴力団排除教室～暴力団犯罪から青少年を守る～

4月25日に全校生徒を対象に、薬物乱用防止教室、暴力団排除教室を開催しました。福岡県警察本部から講師をお招きし、薬物乱用及び暴力団の実態や被害、近くで実際に起きた事件などについてお話をうかがいました。全国に25ある指定暴力団のうち、5つが福岡県にあり、犯罪に手を染めた組員が暴力団から脱退したがっている事例を示し、「暴力団は決してかっこいいものではなく、入ってしまったら最後、地獄のよ



うなものだ」と強調されました。さらに、「暴力団は映画などが美化するイメージと違い、犯罪行為をする反社会的集団であって関わったら不幸になる。ささいなことでも警察に相談して」と訴えられました。特に、近年、予想以上に私たちの身近に暴力団の恐怖・影響が及んできている現実を知らされました。また、暴力団がどのようにして金を集めるかという上納金の仕組みのこと、薬物**(大麻 コカイン、覚せい剤、シンナー、MDMA)**の売買

のこと、女性を監禁して援助交際をさせている実態などを話されました。知らないうちに未成年が、そうした暴力団とのつながりを持ってしまい、とりかえしのつかない大きな被害にあう構造がよく分かりました。また、何度も「暴力団にとって少年、少女は絶好のターゲット」であること、暴力団はみなさんの知り合いやインターネットを通じて、みなさんに近づいてくるので「断る勇気をもつこと」の大切さを繰り返し話されました。薬物乱用防止に関しては、特に大麻について、県内では、大麻乱用で検挙される少年が年々増加し、深刻な状況にあること、「大麻に害はない」などの間違った情報が広がっているが、大麻は精神障害や依存症を引き起こすなど、身体に悪い影響をおよぼす危険で有害な薬物で、正しい知識を身につけ、「ダメ、ゼッタイ。」を合言葉に、誘われても断るという強い意志を持つことを訴えられました。最後に、暴力団犯罪や薬物乱用を避けるための注意点として、**新聞等で情報を集め、事件について知ること、日常からルールとマナーを守って生活すること**を挙げられました。



4月27日に兼松コミュニケーションズの方をお招きし、全校生徒を対象にケ

ケータイマナー教室 ～安心・安全な利用について考える～

ータイマナー教室を開催しました。

ネットにつながってれば、個人情報も世界中の人が見ることができ、また、一度載せたら拡散し削除できないため、一度立ち止まって慎重に考えなければならないこと(個人情報の不用意な公開、不適切な書き込み)について、事例を通して考えました。特に、ネットでのコミュニケーションは、顔が見えないため、受け止め方はそれぞれで、自分の書き込みが思いがけず相手を傷つけることもあること、だからこそ、見直して、確認しなければいけないことなどを、具体的な事例を通して学びました。また、中学生の多くが利用している LINE やフェイスブックをはじめとするコミュニケーションアプリにおけるトラブルやゲームの課金におけるトラブルなど、事例を通して学びを深めました。講話では、「自分がわからないこと、困ったときは、必ず周りの大人、保護者や先生、警察に相談してください」と何度も、生徒に訴えられました。

携帯・スマホ・SNSに関する私たちの実態！(アンケートより)

- 携帯・スマホ・SNS(以下「ネット」)で人のやりとりをしたことがありますか？ 頻る ⇒ 285人/386人
- ネットでのやりとりが気になって勉強が手につかなくなったことがありますか？ 頻る ⇒ 116人/386人
- ネットで口をきかれて嫌な思いをしたことがありますか？ ある ⇒ 58人/386人
- (ネットを利用している人) ネットの使い方に決めたルールを家庭で決めて守っていますか？ 守れていない ⇒ 90人/208人
- (ネットを利用している人) ネットの利用について、家庭でルールがあった方が良いと思いますか？ 違う ⇒ 149人/208人
- 「ネットは1日1時間以内で止めますか?」「寝るまで覚ましで止めますか?」の質問に対しては、学生が上がるほど長く、遅くなる傾向にある。
(3年生の平均⇒何時間まで?)11:25(何時間?)14:5時間
- ネットが学習などの妨げになり、困っている人がいる。
- ネットを利用している人だらけの合衆国に入らず、嫌いな国に入り、友人関係が悪くなった人だらけがいる。

このままでは!?

- 「ながらスマホ」や「個人情報の流出」等のマナー違反が増え、周りに悪影響を及ぼしてしまおう。
- 社会にあふれる多くのトラブル等に巻き込まれ、危険な思いをする可能性がある。
- 学習を第一に考えるべき時に、ネットのことが気になり、私たちの大切な進路実現の妨げになる。
- ネット上でのコミュニケーションが増え、「ことば」やられ合いによる真の繋がりが稀薄になる。
- 「個人情報の流出」や「ことば」の使い方が悪くなることで、友だちとの嫌みいづきやいづきやいづきがある。

「名前や写真、人を傷つけないのは内容を勝手にネット上に掲載しません! 全ての人と暖かく接するためにことば」を大切に扱います! 家族や友達と協力して、私たちが自身のためにこの宣言を誓います!

大原中学校生徒会宣言と共に御家庭でもぜひ話題にさせていただきたいと思っております。

PTA父親委員会の皆様、5月14日(日)の側溝掃除、大変お世話をおかけいたしました。子どもたちの安心安全のために、お忙しい中、本当にありがとうございました。